

は本州半縦断)のスタートだ。

オレたちは、ワクワクしながら、参加するチューナーたちは、ドキドキしながらこの日を待っていた。

谷田部(日本自動車試験場)→仙台ハイラン
ドレースウェイ→エビスサーキット→トーサ
ーキット→谷田部(日本自動車研究所)、総行
程6日間3000キロにもよぶ、壮大なチ
ューンドカー&チューナーのバトルだ。

もちろん、ただのロングツーリング、なわ
けがない。各ポイントには、ジムカーナ、ヒ
ルクライム、ゼロヨン、ドリパフォ、タイム
アタック、最高速といったスペシャルステ
ージが用意されている。

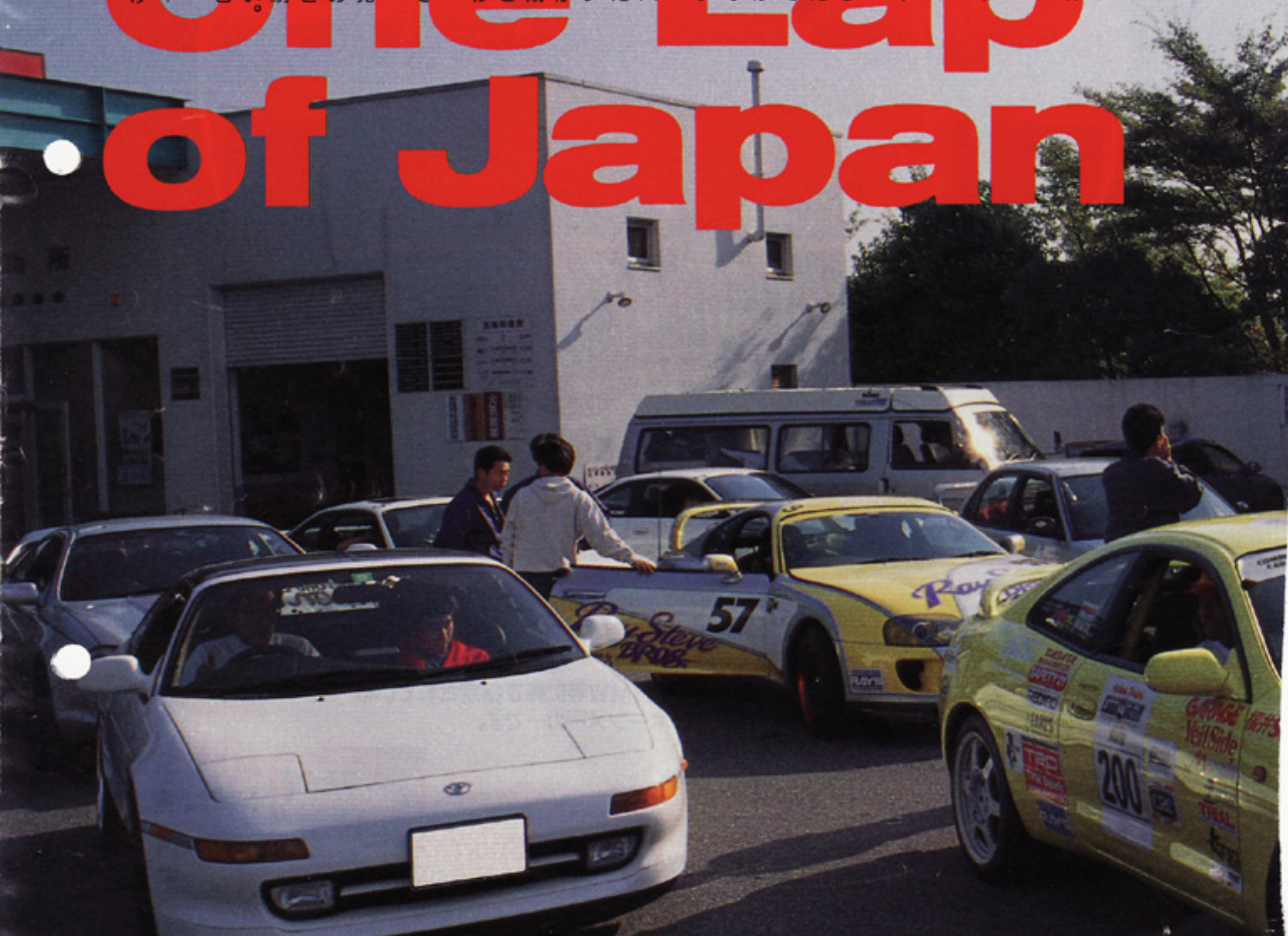
チューンドカーのポテンシャルを評価する
すべてのカテゴリが集約されているわけだ
から、どれかひとつの性能だけが突出(たい
ていはコレなんだよな)していてもダメ。しか
も、これらのスペシャルステージや約300
0キロのトランスポート区間のドライブピン
グやメンテナンスは、すべてドライバーとコ
ンパイパーでクルマに搭載している工具、パ
ーツだけで行わなければならない(最高速だ
けは例外だけど)、という過酷なレギュレー
ションだから、メンテナンスとドライブピン
グがイージーでなければならぬ。つまり、完
成度が異常に高いクルマでなければ、勝つこ
ろか完走することすらおぼつかないとい
うわけだ。

こんな過酷な競技(あえて競技と呼ん
だ)であらう、といった誰が考えたんだ?

OPT2は、締切りの都合でスタートを見
送ったところで時間切れとなった。6日後の
ゴールまで待って、結果をお知らせしたい
ところだけど、そつは問屋、じゃなかった印刷
屋が卸さない、じゃなかった待ってくれない。
結果&詳細レポートは、11月26日発売のO
PT1月号を待て!

1994年11月、ニホンのキャ
ノンボール文化(なごのいつちや)の幕開け
だ。

One Lap of Japan



史上初のチューナーズキャノンボール!
6日間3000キロのロングツーリング&
スペシャルステージを制し
BEST TUNERの栄冠に輝くのはだれだっ!